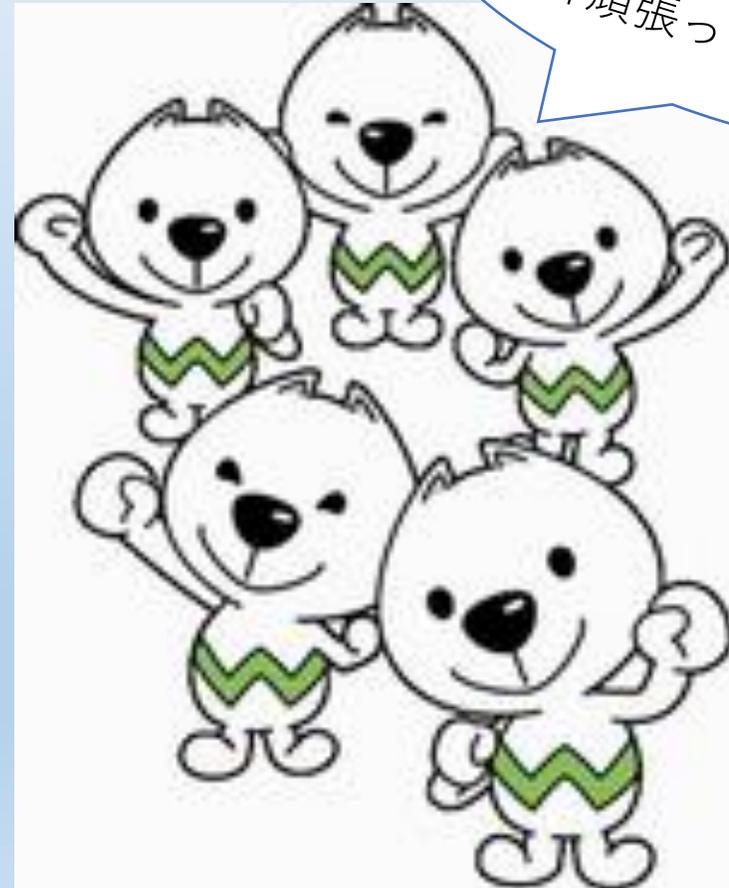


The dawn of a new era
「家庭教育支援」を始めよう

家庭教育支援について…の前に

〇〇市町村のことを考えよう

どんな町が理想ですか



誰もが持つ感情を
持つあなた
「頑張っています」

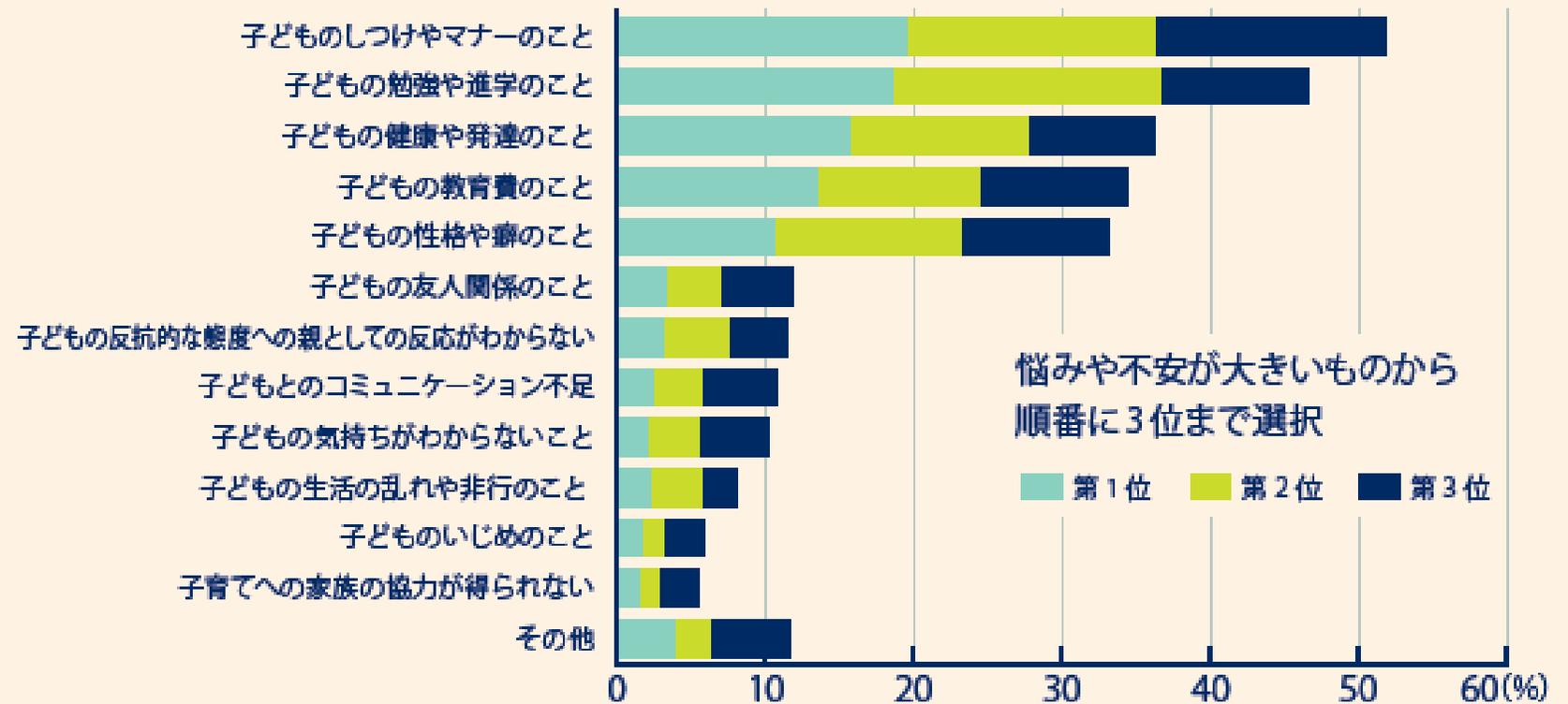
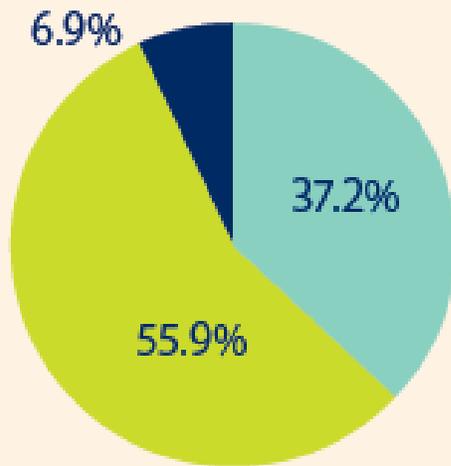
子育てについての悩みや不安

👉 約4割の保護者が悩みや不安を抱えているようです。

■ 悩みや不安がある

■ 悩みや不安はあまりない

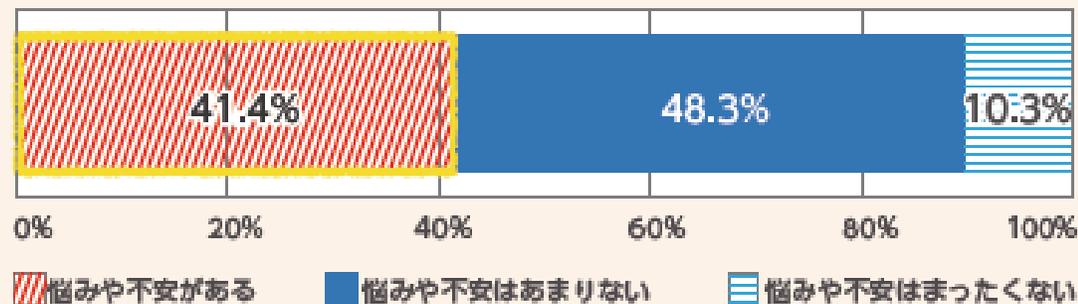
■ 悩みや不安はまったくない



今の家庭を取り巻く不安

● 子育ての悩みや不安

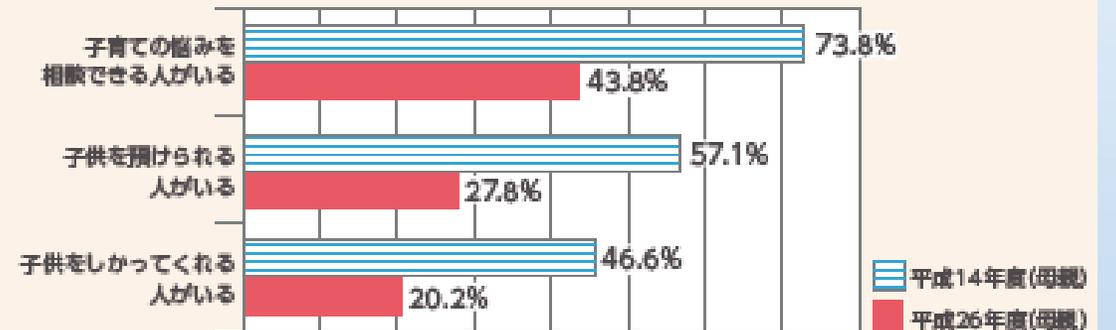
約4割の保護者が子育てに悩みや不安を抱えている。



文科科学省委託調査:家庭教育の総合的推進に関する調査研究～家庭教育支援の充実のための実態等把握調査研究～(平成28年度)

● 地域におけるつながりの希薄化

地域の中での子供を通じた付き合いが減少している。



(株)UFJ総合研究所「子育て支援策等に関する調査研究」(厚生労働省委託)(平成14年度)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング「子育て支援策等に関する調査 2014」(平成26年度)

・ 現状

仕事で忙しい家庭や、様々な悩みを抱え孤立しがちな家庭など、様々な課題を抱えた家庭の状況

対策

それぞれの家庭がおかれている状況を踏まえたすべての親への学習・相談支援

【アプローチ】

孤立しがちな家庭など、支援が届きにくい家庭への支援

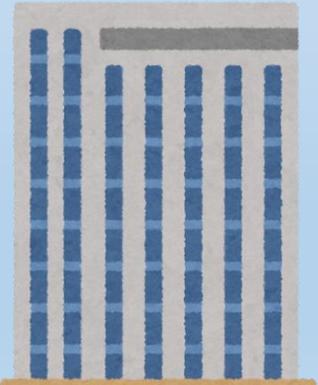
家庭教育支援とは（国）

- 家庭教育は、**すべての教育の出発点**であり、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者の妊娠期から子育て期、学齢期まで切れ目なく続く親子の育ちを応援しています。
- 子供の豊かな情操、家族を大切にできる気持ちや他人に対する思いやり、命を大切にできる気持ち、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナーなどを含め、**子供の基本的な生活習慣の確立や自立心の育成、心身の調和のとれた発達を図る上で、重要な役割を担うもの。**

◆教育基本法（平成18年法律第120号）（抄）
（家庭教育）

第10条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。



文部科学省

家庭教育支援チームとは

参考：文科省「家庭教育支援チーム」の手引書（平成30年度）

今、地域で家庭教育を支える家庭教育支援チームが求められています。

身近で気軽に相談できる存在となるよう、地域の学校や公民館などを拠点に活動しています。様々な機関とも連携し、要望や必要に応じて各家庭へ訪問して相談に乗ることも行います。

構成員

地域の実情に応じて、子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成します。

主な業務

地域のニーズに対応し、以下の取組を中心とする多様な支援を行います。

1. 保護者への学びの場の提供（学習機会の提供や情報提供、相談対応）
2. 地域の居場所づくり
3. 訪問型家庭教育支援



家庭教育支援とは（県）

家庭教育支援チーム

訪問型家庭教育支援

- 訪問型家庭教育支援・個別相談
- 定期的な連携会議

子育て情報や 学習機会の提供

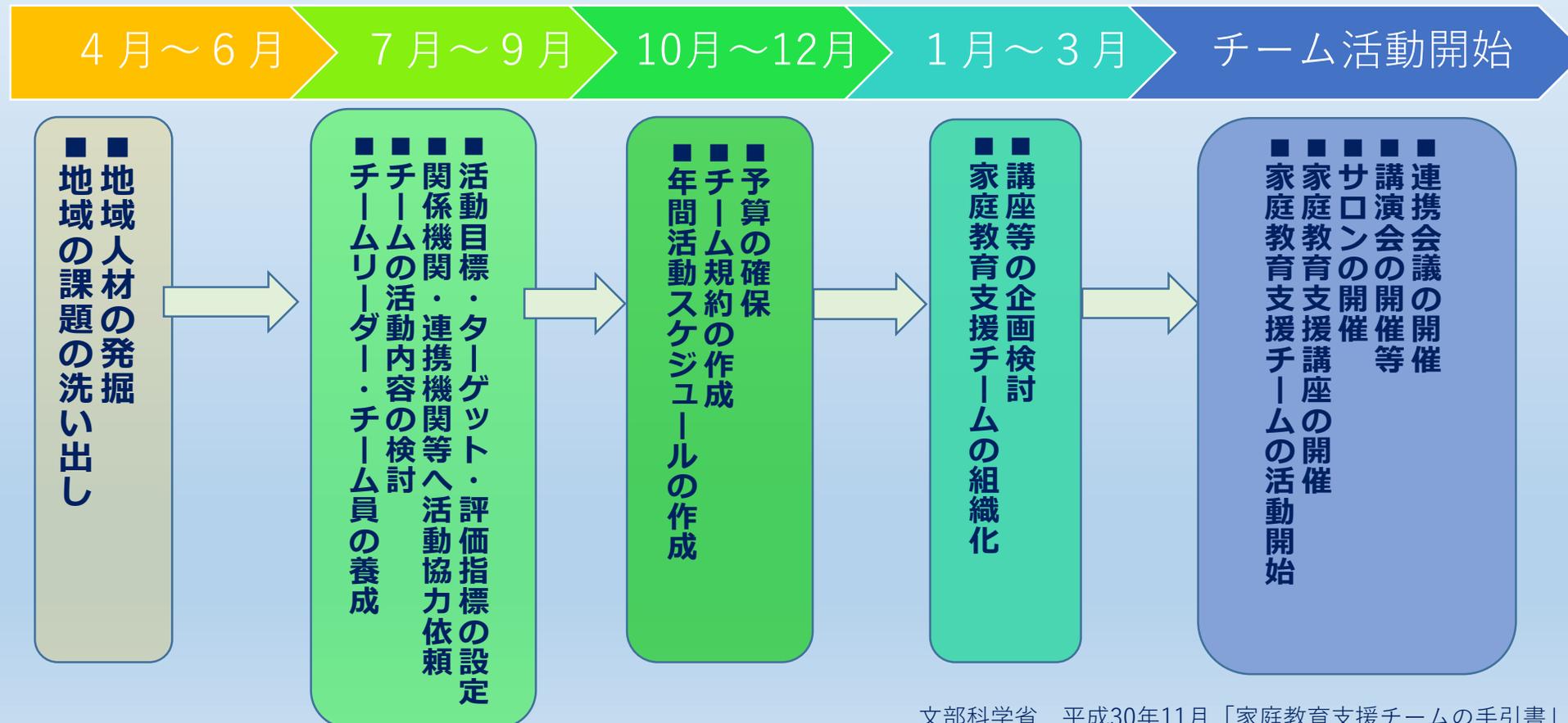
- 情報提供
- 学習機会の提供
- 親子参加型の行事



身近な地域で、子育てや家庭教育に関する相談に乗ったり、親子で参加する様々な活動や講座などの学習機会、地域の情報などを提供したりします。ときには、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育をサポートします。

家庭教育支援チームの結成に向けて

家庭教育支援チームのつくり方と活動にあたって
～行政主導により組織づくりを進める方法～
※例えば4月から検討をスタートした場合



現状把握！・・・の前に大事なものは

- 現場で起こっている事象の把握（情報を得る）
- 事務局でワーキングチームの形成を計画
- ワーキングチームメンバーの人選
- **どのような状況をどのような状況に変えなければならないのか**
チーム内で「ぶれない」共通認識を持つ



訪問型家庭教育支援の類型例

【全ての家庭への対応】

- ① **ユニバーサル型** ⇒ 全ての家庭を訪問

- ② **ベルト型** ⇒ 小1保護者対象、中1保護者対象など、対象年齢を限って全ての家庭を訪問



- ・課題のある家庭や保護者を早期発見！
- ・非行や不登校など問題が大きくなる前に把握！



早期発見・早期対応が未然防止につながる

-
- ③ **エリア型** ⇒ 地域ごとの特徴に応じた訪問支援のメニューを設定



【困難を抱える家庭への対応】

- ④ **ターゲット型** ⇒ 訪問希望家庭や不登校や非行、ネグレクト、育児不安など課題のある家庭を訪問



困難を抱えた保護者に寄り添った助言相談や課題解決に向けた情報提供などを通じた支援の実施



必要に応じて専門機関への橋渡しを行う



家庭教育支援チームの結成が決まったら

こだわりの
チーム名を！



- ユニバーサル型
- ベルト型
- エリア型
- ターゲット型

① 運営機関が明確である

② 活動内容をイメージしてみる

③ 園・学校・福祉部局との連携

④ リーダー・チーム員の選定

活動内容を考える

1
教育委員会、学校
福祉部局
関連施設関係者

2
人口
エリア、中学校区
生徒指導上の課題（不登
校・経済的課題・困難を抱
えるひとり親家庭）
発達相談件数

3
実態把握
次年度の支援の方向性
強みを生かした役割分担
支援チームスタッフの検討

4
元学校園管理職
更生保護関係者
自治体役員
親子サークルメンバー

継続的問題発生

対策検討

問題解決のための事業展開

気づき

行政
チーム
結成

支援
チーム
結成

家庭教育支援
チーム構築
プロセス

【教育】

- ・ 担任による子供や保護者の変化の気づき
- ・ 発達相談、教育相談件数の増加
- ・ 生徒指導件数の増加
- ・ クレームの増加
- ・ 不登校 等

【福祉】

- ・ 定期検診未受診
- ・ 就学後の情報が得られない
- ・ 相談件数の増加
- ・ 気になる内容の相談
- ・ 孤立家庭の発見 等

【ワーキングチーム】

- ・ 管轄機関の検討
- ・ 関係機関の担当者会議
- ・ 支援員の人選の検討
- ・ 関連情報の管理

【家庭教育支援チーム】

- ・ 必要な支援の検討
- ・ チーム内での必要な情報の共有
- ・ 支援チーム研修

必要関係機関を
随時検討・更新